

総合特別区域評価・調査検討会における評価結果の概要(平成30年度)

2. 分野別状況(2)地域活性化総合特区 ⑤農林水産業分野(6/7)

	総合評価 (ⅠとⅡとⅢを1:1:2の割合で計算)	Ⅰ	Ⅱ	Ⅲ	総合評価に係る専門家所見(主なもの)
		目標に向けた取組の進捗	支援措置の活用と地域独自の取組の状況	取組全体にわたる事業の進捗と政策課題の解決	
たたらの里山再生特区(雲南市)	3.3	3.1 進捗度 ・人口の社会動態 -35% ・まちづくり活動に参画する市民の割合 99% ・市民参加型林地残材搬出量 79% ・コミュニティビジネス売上高 74%	2.9 規制の特例等 ・農地取得に係る下限面積要件の緩和 地域独自の取組 ・森林バイオマスエネルギー事業運営業務委託 ・地域づくり活動等交付金	3.5	<p>・小規模多機能自治組織の法人制度創設を求める提言書を提出されたことは大変意義のあることである。小規模多機能自治推進ネットワーク会議の活動をベースに、地縁を基盤とする新たな法人制度の創設が期待される。</p> <p>・人口は減少傾向にあるが、市内で地域差があるかどうかを検証してみてもどうか。</p> <p>・指標(1)「人口の社会動態」は、特区事業の直接的な結果ではないため、サブ指標に挙げられている交流人口・関係人口をむしろメインの数値目標とした方がいいのではないか。</p> <p>・全体的に、厳しい状況に直面していると考えられるが、相当詳しい分析がなされており、その内容を活かした今後の戦略の緻密化や見直しが期待される。</p> <p>・活動の取組方やその熱意は高く評価できるが、指標になかなか現れてこないところが評価として難しい。取組の成果がうまく評価指標に反映されること、あるいはサブ指標などを用いて評価するなどの工夫を期待したい。</p>